

# 岩屋中だより

令和6年10月30日 NO16

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

## Chance Challenge Change それは『力』の発揮

### 地域で発揮される力

10月20日に西北町づくり協議会主催の西北祭りが開催されました。開催にあたって、地域の方から依頼のビデオメッセージが届けられました。早速、クラスルームにて全校生徒に配信をいたしました。その後、ポスターも同様に配信して、放送で呼びかけたところ、ボランティアしたいという応募がありました。男女合わせて10人を超える生徒たちがこのイベントのボランティアとして、テントを出したり、西北小学校のグラウンドでテントの設営をしました。小雨の降る中、額に汗して黙々と働く姿は大変素晴らしかったです。

お祭り当日は、岩屋ダンスチームが開会式のオープニングを飾り、素晴らしい踊りを披露しました。自主的に活動し、想像力を働かせて作りあげたダンスは見応えがありました。楽しみながら、そして充実感を得た笑顔には、地域と一体となって楽しむ姿が見られました。

生徒たちは、各家庭だけでなく、地域の方に見守られながら、地域の中で育ちます。地域の諸行事の中で、生徒が自ら地域の中で貢献することは、ふるさとを大切にする心につながるとともに、持続可能な地域活動・持続可能な地域と子どもの関係づくりにつながると考えます。地域の方々が、主体的に動いて地域行事に若い力を取り入れようとしたことで、本校生徒が準備から本番まで主体的に動いたことは、地域の若い力が育っていく礎(いしずえ)の一部がつくられたものだと思います。その根本には、すべての教育活動は、『子どもを中心に据える』という基本が見えてきます。本番当日は、地域にある長崎工業高校の吹奏楽部の演奏もあり(前日の準備も参加していました。)、中高と地域がつながった貴重な時間でした。次年度は、長崎工業高校の吹奏楽のボランティアと本校がコラボできる瞬間があれば『つながり』が強くなるのかもしれない。そう思いながら、海上を後にしました。

さて、11月2日(土)には、滑石ふれあいセンター祭りが開催され、本校合唱部が出演いたします。16時からの出演予定です。ぜひご参観ください。天候が不安ですが……………





## あじさい English Speech Contest Yさん 奨励賞受賞

10月20日、あじさい English Speech Contest が行われました。予選を経て入選した19名が長崎への思いを英語でスピーチしました。本校からは、3年生のYさんが出場し、奨励賞を受賞しました。国際都市長崎について思いを語り、流ちょうな英語で、そして強弱をつけた堂々とした素晴らしいスピーチでした。今、『ふるさと』を見つめる教育活動が長崎県では推進されています。私たちが住む長崎と自分自身との関係について改めて振り返ることは大変有意義なことです。スピーチは、文章を単に読むのではなく、自分の考えを聴いている人によく伝えるために表現方法を工夫し、練習を重ねることで可能になります。本戦に進んだ中学生のスピーチはどれも素晴らしく、本校のYさんのスピーチは圧巻でした。惜しくも本選には進めなかったけどチャレンジして応募した人たちも『経験は力なり』であり、自身のチャレンジは人生の大きな宝物です。大切にしてください。

予測不可能な社会の中で生きていくために、『主体的に動き、考え、そして表現する』力が求められています。日常生活の中で、主体的に動き場面、考えて動く場面、表現する場面を意識しながら生活していきましょう。頑張って努力を重ねて宝物を得たYさん、おめでとう！



## 俳句の入選～長崎新聞～

本校生徒の作品が長崎新聞の『ジュニア俳壇』に掲載されています。言葉に思いを込めると心動きますね。『心で感じ動く』これこそ、文字通り、感動だと思います。

ひと息で麦茶飲み干す午後三時（3年 Kさん）

放課後にせみもはりきりフォルテかな（3年 Sさん）

勝負あり ジャージにしみる春の泥（3年 Yさん）

選抜に選ばれ嬉しき日の盛（3年 Mさん）

朝ご飯 熱い牛乳 冬来たる（3年 Nさん）



個人情報保護のため、イニシャルによる表記、ならびに写真は解像度を落として掲載しています。